

平成29年度 健康福祉部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
子供から高齢者まで、誰もが生涯にわたって健康で安心して暮らせる地域社会を目指し、健康福祉部各課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進すること。	1. 保育所入所待機児童解消対策	・保育所入所待機児童を解消するとともに、次年度当初の新規入所時には、待機児童ゼロを目指し、施設面での乳児の受入れ枠の拡大を図るとともに、保育士の確保を行う。	・河原保育所仮設園舎の整備を行う。 ・潜在保育士掘り起こし事業を実施する。 ・職場環境の改善を図り、離職者を減らす。	・河原保育所仮設園舎整備は、H31.4月開園に向けて民間の保育園及び幼保連携型認定こども園の施設整備が具体化したことから、当初の計画を見直し、既存施設の活用などにより受け入れ体制を整備し、H30.4当初における待機児童ゼロを達成できた。 ・保育士についても、見学会・体験会の実施や民間園と合同で就職フェアの開催をするなど取り組んだ。現職員に対しては、面談を行い処遇改善につなげた。	A	
	2. 各課計画の策定 ①高齢者保健福祉計画(第7期介護保険事業計画)の策定	・各種計画の策定により、事業を計画的に推進するとともに、進捗管理を行う。	・以下のとおり実施する。 ①7月アンケート調査結果から計画骨子検討、10月素案、11月パブリックコメント、3月計画策定	・12月にパブリックコメントを実施し、3月に計画を策定した。 ・H30.4からの介護保険料を決定した。	A	
	②第5期障害福祉計画の策定		②8月事業所等ヒアリング、11月素案作成、12月・1月協議会・策定委員会から意見徴収、3月計画策定	・12月にパブリックコメントを実施し、3月に策定した。	A	

平成29年度 健康福祉部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	3. 現(平成27～29年度)高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画の推進	・高齢者が住み慣れた地域の中で、生きがいを持ちながら生活を続けられることを目指して、高齢者が自ら地域を支える側として活躍できる場を確保することにより、介護予防を推進するとともに、介護が必要な状況となっても、支えることが出来る、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進を図る。	・身近な居場所づくりを推進する。 ・介護予防事業の充実を図る。 ・高齢者いきいきポイント事業を拡充する。 ・医療・介護関係者の情報共有の支援を行う。 ・在宅医療・介護連携を推進する。	・今期計画の重点事項7項目をほぼ達成した(特に、身近な居場所づくり、いきいきポイント事業の拡充、認知症カフェの拡充) ・在宅医療、介護連携に向け医師会と共に学習の場を開催した。	A	
	4. 学習支援事業の充実	・生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯等の子どもの学力及び学習意欲の向上を図り、進学への意識を高める。	・現在対象の中学生に加え、小学5～6年生も対象とすることで、学習への躓きに対して早期に対応する。 ・対象となる世帯に対して、事業の周知を図る。 ・ホームページへ掲載する。 ・学校への周知を図る。	小中学生どちらも参加者は増えており、期末の参加者は21名となった。事業内容については、キララ教室を中心にハロウィンイベントを行うなど、子ども達の居場所としての機能も強化した。保護者へのアンケート調査を実施した。	A	
	5. 障がい者基幹相談支援センターの開設	・障害者総合支援法第77条の2に基づき、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関を設置し、障がいのある人等の相談支援体制の充実を図る。	・以下のスケジュールで進める。 ・5月事業実施要綱及び委託先選定要綱の決定 ・6月プロポーザルによる事業所選定 ・7月開設 ・開設後の事業実施支援	7月に、共生福祉会に委託し、基幹相談支援センターを開設した。毎月会議を開催し、2月には、相談支援専門員対象の研修会を実施した。自立支援協議会と連携しながら、相談支援専門員のネットワーク構築を検討した。	A	

平成29年度 健康福祉部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	6. 健康増進計画・食育推進計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点プロジェクト別に行動計画を検討・実施・各年の評価を実施する。</li> <li>①京田辺発健幸レシピの活用</li> <li>②歩く健幸づくり事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京田辺発健幸レシピを使った親子食育教室を実施する。</li> <li>庁舎内に健幸スポットの設置や楽歩塾でのウォーキング指導など歩く健幸づくり事業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「京たなべcooking いただきます！」を7月に実施。(6組13名)。なすの収穫から生産過程、調理を体験</li> <li>②・「健幸スポット」11月7日から運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>楽歩塾を5回シリーズで実施。</li> </ul> </li> <li>「足の健康づくり」として新たに足の計測・個別相談を実施(延べ142人)</li> <li>水辺の散策路「普賢寺ルート」健幸看板設置(2か所)</li> <li>公共施設路面標示(中部住民センター・保健センター)</li> </ul>	A	